

沖縄カトリック中学高等学校
学校通信

野ばら 9月号

発行
沖縄カトリック中学高等学校
〒901-2215
宜野湾市真栄原3-16-1
TEL 098-897-3300
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp>
2020年9月3日(木)

本当の「祈り」とは

校長 夏見隆晴

カトリックの大学を出て、カトリックの学校で長年勤めてきた私は、当然のように児童や生徒とともに、神様に祈りを捧げてまいりました。そんな私の経験で、果たして「祈り」について、子ども達に語れるのかどうか、自信がありません。今も本当のことを言うと、「祈る」と言うことに自信がなく、情けない限りです。それでも、『聖書』を読み、自分に出来る限りのことをして、子ども達とともに神様に祈りを捧げてきたつもりであります。そこで、今回も勇気をふるって、「祈り」について、素人の考えを述べてみよう、と決心した次第です。

けれども私には、やはり深遠な事柄を、自分自身の思考力で、人様に伝えるということは出来ません。そこで思いついたのが、先輩にあたる先生が訳された『祈りセラピー』の中から引用させて頂くことでした。「祈り」をしているつもりでも、仕事を嫌々したり、人のことに無関心でいたりするならば、それは祈りではありません。本当の「祈り」とは、人の世話や奉仕の実を結ぶものです、とあり、「祈り」が行動的なものであることを示唆してくれております。この一文に出合った時、これを私の祈りにするのだと考えました。

「祈り」の必要性について、多くの人々がそれぞれの立場から論じております。神仏の存在を信じ、その教えに導かれて己の生き方として日々の生活を有意義に過ごし、より人間らしくなる様に、と努力するのです。そうした努力の一つが現在、お子さま達が日々の仕事としている「学ぶ」という作業であるのです。何かを造り出すという人間らしい営みは、思考力を養いながら、しかも継続して取り組む必要があるのです。今回のテーマとした「祈り」に関しても、祈り上手な人は、それなりの修業を積んでいるのだと思われまます。

日本語には「畏れ敬う」とか「畏敬の念を抱く」という言い方があります。その意味は、偉大なものとして畏れ敬うということですが。畏れ敬うなどという言葉を使うと、それは大層なこと、と感じ取られるかもしれませんが、「結構日常の営みの中にも感じとられることでもあります」と言うのは、神様の働きは、私たちの日々の小さな働きの中にも、当然のように宿っておられるのです。その小さなことに気付くかどうかですが、私たちの生き方の上に、大きな差を生み出すことになるからです。神様は細部に宿られるからです。

私たち大人は、よく「子どもに教えられた」という言い方を致します。人間にとって本当に大切なことは、もしかしたら子ども時代に教えられているのかもしれませんが。人間の心の法則というものは、生まれながらにして与えられている、と考えても良いのかもしれませんが。大人になってから馬鹿なことをしてかした時など、あとで必ず思うのは、何故こんな事をしたのだろうという後悔の念です。その時に直面すると、立て直すためには大変な努力を必要とする時になっていて、立て直すために更なる力が必要となるのです。



硬式野球部の夏季大会を観戦して

高校3年学年主任 真栄里 賢治

7月12日、セルラースタジアム那覇にて本校硬式野球部高校3年生にとって最後の大会となる2020沖縄県高等学校野球夏季大会の試合を観戦しました。今年度は新型コロナウイルスの影響により夏の甲子園が中止となり、そのため例年行われている甲子園の県予選もなくなりました。その代替措置として県の高校野球連盟独自で夏季大会が開催されています。新型コロナウイルス蔓延防止のため観戦は保護者のみ許可されているということだったので私は観戦を諦めかけていたのですが、学校関係者ということで特別に観戦させて頂くことができました。高3野球部は高校1年の時から担任・学年団として接してきたこともあり、また彼らの公式試合もほぼ毎試合観戦してきたので、最後の大会を観戦できたことをとても幸運に思いましたし、同時にこれが彼らにとって高校野球最後の大会となるということに感慨深いものもありました。

甲子園中止が決定してしばらくしてから夏季大会の開催が発表されましたが、当初生徒達は甲子園という長年夢見ていた目標がなくなったことで大会に参加する意義を見いだせず、困惑しているようでした。しかし最終的には大会に出場することで一致団結し、限られた練習時間を経て大会出場にこぎつけました。結果は残念ながら初戦敗退となりましたが、過去例を見ない形で甲子園出場への挑戦を断念せざるを得なかった中、心折れずに最後の試合まで頑張れたことを大きな自信にしてほしいです。

試合終了後のミーティングでは引退する3年生1人1人から後輩へ向けて挨拶がありました。それぞれが負けた悔しさ、引退する寂しさを抑えながら、後輩達に甲子園出場の夢を託したり、監督やコーチ、保護者への感謝を述べていたりした姿がとても印象的でした。野球は一区切りとなりますが、人生はまだ続きます。この日の悔しさ、寂しさ、感謝の気持ちを忘れずに、まずはこれから残りの高校生活をそれぞれの進路実現に向けて頑張してほしいと思います。





9月の行事

9月2日(水)	生徒集会 授業開始
9月3日(木)	内科検診(午後)
5日(土)	総合/PUP④
7日(月)	中学成績会議 カウンセラー来校日①
8日(火)	高校成績会議
9日(水)	職員会議
10日(木)	1～3年：学力推移模試② 4～5年：スタディーサポート模試② 6年：進研記述模試④ カウンセラー来校日②
11日(金)	漢字検定(放課後・希望者のみ)
12日(土)	学校説明会
14日(月)	面談週間 ～18日まで カウンセラー来校日③
17日(木)	4～6年進研プレパック模試
21日(月)	敬老の日
22日(火)	秋分の日
23日(水)	委員会②
30日(水)	前期終業式/LHR(授業なし) カウンセラー来校日④

※中学修学旅行説明会開催および修学旅行について

中学修学旅行説明会は新型コロナウイルスの流行に伴い、中止と致します。なお、修学旅行の実施につきましては、次年度に延期することをご報告いたします。